

令和7年度 第2回理事会議事録

日 時	令和7年5月21日（水）午後1時30分～午後15時30分
場 所	沖縄県土地家屋調査士会会議室
出席者	■ 金城行男 ■ 近藤哲司 ■ 福原義隆 ■ 島袋裕二 ■ 半嶺当徹 ☐ 比嘉常博 ■ 吉田美苗 ■ 澤岷公亮 ■ 細野陽一 ■ 諸喜田秀和 ■ 友利鉄矢 ■ 高橋 潤 ■ 佐久田俊充 ■ 野國昌淳
協議事項	1. 業務分掌 2. 筆界研究委員会の運営について 3. 周年祭について ①予算について ②プログラム ③安里先生の件 ④藤田先生の件 ⑤講演会かシンポジウムか ⑥役割分担 ⑦各支部出し物 ⑧その他 4. 九B担当会について ①ホテル、会議室の件 ②予算について ③ゴルフについて 5. その他 ①年次研修について ②罹災証明発行の研修会について

議事録作成者：佐久田俊充

議事録署名人：近藤哲司副会長、島袋裕二理事

金城行男会長

挨拶を行い、本日の協議事項のスケジュールを説明する。

【協議事項】

1. 業務分掌

令和7・8年度沖縄県土地家屋調査士会業務分掌については下記のとおり

【常 任 理 事】

総 務 部 長：半 嶺 当 徹

財 務 部 長：福 原 義 隆 （副会長兼任）

業 務 部 長：比 嘉 常 博

研 修 部 長：細 野 陽 一
広 報 部 長：諸喜田 秀 和
社 会 事 業 部 長：澤 岷 公 亮

【理 事】

総務・社会事業：佐久田 俊 充
総 務・研 修：野 國 昌 淳
業 務・広 報：島 袋 裕 二
業 務・研 修：友 利 鉄 也
業 務・研 修：高 橋 潤
社会事業・広報：吉 田 美 苗

【名誉会長・顧問】

名 誉 会 長：宮 城 朝 光
名 誉 会 長：比 嘉 定 善
顧 問：金 城 榮 秀

【筆界研究委員会】（業務部直属）

委 員 長：	比 嘉 常 博	（業務部長）
副 委 員 長：	細 野 陽 一	（研修部長）
委 員：	島 袋 裕 二	（業務部理事）
委 員：	平 良 正 人	
委 員：	田 場 盛 次	
委 員：	比 嘉 定 善	
委 員：	島 袋 徹 志	

【苦情相談委員会】

委 員 長：	福 原 義 隆	（総務担当副会長）
委 員：	近 藤 哲 司	（副会長）
委 員：	半 嶺 当 徹	（総務部長）
委 員：	比 嘉 常 博	（業務部長）

【注意勧告理事会】

理 事：	金 城 行 男	（会 長）
理 事：	近 藤 哲 司	（副会長）
理 事：	福 原 義 隆	（副会長）
理 事：	半 嶺 当 徹	（総務部長）
理 事：	比 嘉 常 博	（業務部長）

【業務実態調査委員会】

委員長	長：福原義隆	(総務担当副会長)
副委員長	長：金城浩二	(那覇支部長)
委員	員：伊盛進	(南部支部長)
委員	員：翁長宏一朗	(宜野湾支部長)
委員	員：天願光則	(中部支部長)
委員	員：細野陽一	(北部支部長)
委員	員：友利鉄也	(宮古支部長)
委員	員：高橋潤	(八重山支部長)

【紛議調停委員会】

委員長	長：金城榮秀
副委員長	長：伊盛進
委員	員：宮城朝光
委員	員：伊波学
委員	員：比嘉定善
委員	員：仲榮眞盛松

【事故処理委員会】

委員長	長：近藤哲司	(業務担当副会長)
委員	員：福原義隆	(副会長)
委員	員：半嶺当徹	(総務部長)

【おきなわ境界問題相談センター】

セ	ン	タ	ー	長	：	近	藤	哲	司	(業務担当副会長)
副	セ	ン	タ	ー	長	：	大	城	隆	
委				員	：	山	内	盛	和	
委				員	：	新	里		龍	
委				員	：	前	田	克	也	

2. 筆界研究委員会の運営について

① 前年度の委員会の在り方と、2年目の成果発表の精査

金城行男会長：2年毎に前回の研修で行った発表のようなレベルで続けていこうと思うと、今後、人材が足りなくなり、続けていくことが難しくなってくる。

福原義隆副会長：研究終了後に報告となっているので、必ずしも二年に一回しないといけないものではないと思います。

金城行男会長：今後について、委員会を廃止するというわけではなく、2年に1回研究発表を行うやり方を改めて、ベテラン、若手等でクラス分けして、研修成果を上げていく方法も検討できるのではないかと思います。

島袋裕二理事：（前回の研修会での研究発表について）法務局の牧野さんも感心していて、今後法務局の若手にむけて講師をお願いしたいという話もありました。

細野陽一研修部長：前回の研修についてはアンケートをみると評判は良かったです。

② 今年度の委員について

近藤哲司副会長：（次期の）委員としては再任で良いのではないのでしょうか？

金城行男会長：比嘉定善さんにもう一度お願いしたいとします。

③ 今後の在り方について

金城行男会長：各地域の委員の人選をどうやって集めるかについては課題があります。

福原義隆副会長：とりあえずは今のままで続けていってもいいのかなと思います。

近藤哲司副会長：私も同じ意見です。

3. 周年祭について

日時：令和7年11月14日（金） 場所：ノボテル沖縄

会場収容人数：150人（事務局より報告）

① 予算について

事務局：今年度三月末で貯まる予算は420万円程

金城行男会長：周年祭の残金は会計上どのような処理になるのでしょうか。

福原義隆副会長：特別会計は終わったらいったん廃止することに規定で決まっています。あとは一般会計のどこに残高を振り分けるかの問題になります。

金城行男会長：（事務局へ）50周年のときにかかったお金を記念品代、新聞広告代等も含めてトータルで出しておいて欲しいです。

※予算が余った場合の処理については引き続き検討することとなった。

② プログラム

【50周年を参考にしたプログラム予定】

11:30	～	受付開始
12:30	～ 16:00	記念講演（講演2本、3時間）

16:00	～	16:30	来賓案内
16:30	～	17:30	記念式典（来賓祝辞5名、1時間）
18:00	～	20:00	祝賀会

③ 安里先生の件

金城行男会長：講演の一つ目は安里先生にお願いしたいと思います。

④ 藤田先生の件

金城行男会長：所有者不明土地についての講演会として藤田先生にお願いしようと思っています。

⑤ 講演会かシンポジウムか

金城行男会長：藤田先生の予定があいているかはまだ分かりませんが、沖縄弁護士会へ講師派遣の要請文をだして依頼しようと考えています。（藤田先生の）予定が空いてない場合も他にも所有者等不明土地の問題に長けている人がいるかもしれない。

諸喜田秀和広報部長：シンポジウムとした場合は一般にも来てもらうのですか。

金城行男会長：各官公署へも呼びかけを行い、一般から参加を募ることになります。また、パネルディスカッション等の進行役の準備が必要になってきます。

・結果として講演会形式で二本立ての講演で進める方向となった。

⑥ 役割分担

・50周年を参考に役割分担を行った。

実行委員長	金城行男
記念行事準備委員長	福原義隆
記念誌発行編集委員長	近藤哲司
記念行事準備主任	半嶺当徹
記念誌発行主任	諸喜田秀和
委員	各支部長と理事

・金城行男会長より記念式典のプログラムの確認

司 会	野国昌淳理事
開式の辞	近藤哲司副会長
式 辞	金城行男会長
経過報告	福原義隆副会長

金城行男会長：表彰を誰にするかは後日決めることにします。

④ 各支部出し物

金城行男会長：各支部に任せる。この後の支部長会でも話をします。

4. 九B担当会について

① ホテル、会議室の件

【事務局より報告】

- ・日本旅行社によると九Bの6月の総会に対応できるホテルは、ノボテルが80万、オリオンホテルが160万となっている。
- ・10月の担当者会同は候補が4社あるが、予算、日程で合致したのはパシフィックホテルとノボテル。
- ・パシフィック10月24日、25日、26日で土日のみ対応できる。
- ・ノボテルは10月26日、27日、28日で平日での対応となる予定。
- ・ノボテルは1部屋をパーティションで仕切って会議室を造る必要があり、音漏れ等の不安は残る。

【二次会会場への移動手段について】

金城行男会長：タクシーが捕まりにくい。マイクロバスの手配も手段として考えられるので見積もりを取っておきましょう。

福原義隆副会長：（沖縄での担当者会同について）いつ頃迄に年月日等を報告する必要がありますか。

金城行男会長：7月の会長会議では報告したいと考えています。

金城行男会長：どちらにしてもこの二つ（ノボテル、パシフィックホテル）は逃さぬようにお願いします。次の常任理事会あたりで会場、日付は決めましょう。

【九B総会の代議員について】

金城行男会長、近藤哲司副会長、福原義隆副会長が出席することに決定。

【日調連総会の代議員について】

金城行男会長、福原義隆副会長が出席することに決定。

5. その他

① 年次研修について

金城行男会長：年次研修を今年受けていない会員については、連合会の方針で会長指導を行い、その後、注意勧告理事会に進みます。それでも受けなければ懲戒処分まで進むことになっています。その際には予算もかかってきます。対応についてはこのあとの支部長会議でも話をします。

- ・未受講者には各支部長が訪問し、説明してもらうこととなった。

【未受講者：那覇支部 7 名、南部支部 1 名】

② 罹災証明発行の研修会報告

金城行男会長：研修を県が毎年行うとの事なので、調査士会にも声をかけてくれるようお願いをしているところです。その際は各支部から一人ずつ受講してもらうよう考えています。

以上、上記の内容に相違ないものとして署名押印する。

令和 7 年 月 日

議 長 金 城 行 男

議事録署名人 近 藤 哲 司 ⑩

議事録署名人 島 袋 裕 二 ⑩